

生活支援コーディネーターが 地域の支え合いをお手伝いします

市では、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めるため、「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」と「協議会」を設置しています。ここでは、生活支援コーディネーターの活動についてお知らせします。

生活支援コーディネーターと協議会

市では、地域住民が主体となつて高齢者を支援していくため、「小樽市生活支援体制整備事業」を実施しています。この中で、地域における生活支援等の体制整備に向けた調整役として「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置し、また、定期的な情報共有・連携強化の場として「協議会」を設置しています。

「小樽市生活支援体制整備事業」では、「生活支援コーディネーター」が中心となつて「協議会」のネットワークを活かし、住民主体のサービスが活発化されるよう、地域の方と共に地域全体で高齢者を支える体制づくりを進めます。

どんなことをしているの？

生活支援コーディネーターは、それぞれの地域で高齢者が安心して暮らしていただける仕組みづくりの手伝いを行います。生活支援コーディネーターの役割は、主に次の二つ

です。

① 地域資源の調査

公的機関のサービスから民間のサービス、ボランティアによる活動まで、介護予防や配食サービスなどの地域にあるサービスや活動（「地域資源」と呼びます）を幅広く調査します。

② ニーズとサービスの調整

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活を続けるために何を必要としているか調べ、それぞれの地域にあるサービスにつないだり、サービスが無い場合はそれを創り出すためにみんなで話し合ったりする場を作ります。

お気軽にご相談ください

生活支援コーディネーターは、小樽市社会福祉協議会と、小樽市内の各地域包括支援センターにいますので、日常生活の中で困ったことや手伝ってもらいたいことなどがありましたら、下記の連絡先までお気軽にご相談ください。

◆お問い合わせは、介護保険課 ☎ ④ 4 1 1 1 内線 3 1 3、FAX ⑦ 6 7 1 1 へどうぞ。

生活支援コーディネーターの方に お話を伺いました

私たちは今までの取り組みとして、地域資源を把握し、さまざまな課題を地域で補っていきけるような支え合いの場を作ってきました。例えば、運動が好きだったけれど閉じこもりがちになった方と散策が好きな住民の方とを結び付け、定期的に散策活動をするお手伝いができました。この活動は認知症地域支援推進員へ引き継いでいます。また、今年の1月から、年代に関わりなく地域の方が誰でも集まれる場として、「みんなカフェ」を立ち上げています。5月には、町内会や介護事業所、企業の方が参加する「地域支え合い会議」を開催し、地域の関係機関の方々との意見交換を行いました。この会議は今後も開催していく予定です。

生活支援コーディネーターの活動は始まったばかりです。地域に何が足りないかを地域の方々と一緒に考え、小樽にあるサービスを周知していきたいと思えます。いろいろな活動や地域資源がありましたらぜひご連絡ください。



生活支援コーディネーターの泉谷真弓さん（写真左）、今井尚美さん（中）と認知症地域支援推進員の小笹雄大さん

連絡先

小樽市社会福祉協議会
富岡1丁目5番10号
☎ ③ 7847、FAX ② 5641

東南部地域包括支援センター
朝里川温泉2丁目711番地4
☎ ⑤ 2301、FAX ② 1142

南部地域包括支援センター
築港10番1号
（済生会小樽病院内）
☎ ⑥ 7268、FAX ⑥ 7269

中部地域包括支援センター
稲穂2丁目22番1号
（小樽経済センタービル1階）
☎ ④ 2525、FAX ④ 2575

北西部地域包括支援センター
オタモイ1丁目20番18号
（特別養護老人ホームやすらぎ荘内）
☎ ③ 2522、FAX ③ 2523